

(様式1)

学校名	福島県立川俣高等学校	校長	山内 義美
住所	福島県伊達郡川俣町飯坂字諏訪山1		
TEL	024-566-2121	URL	https://kawamata-h.fcs.ed.jp/

福島イノベーション・コースト構想の取組 ～得た知識をものづくりへ～

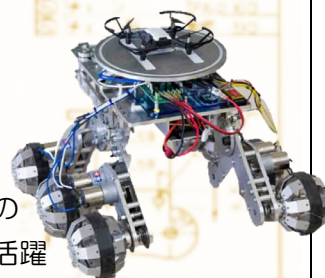
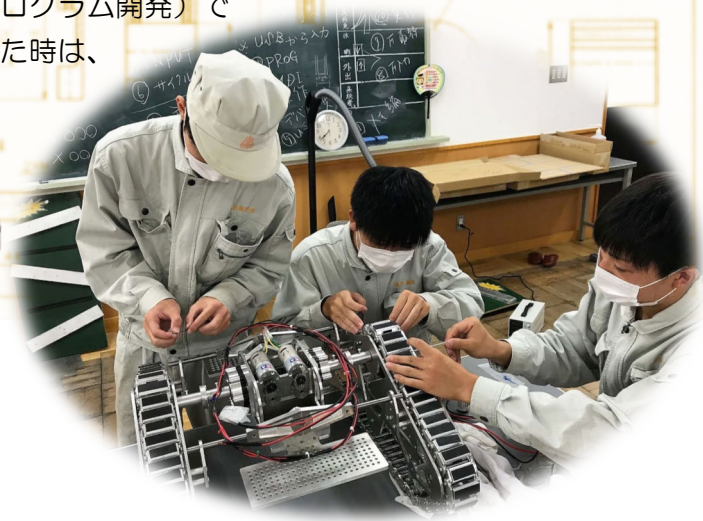
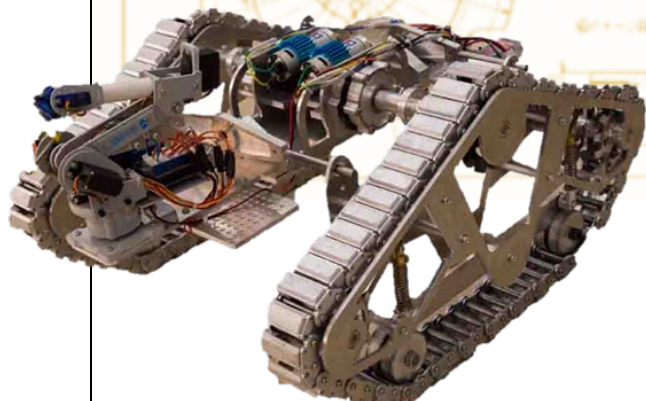
取組の概要

福島イノベーション・コースト構想を担う人材の育成事業の指定を受け、平成30年より先端技術への理解を深める取組を普通科、機械科で行っています。特に機械科では、再生可能エネルギーやロボット等の新たな産業を担う高い資質を持った専門人材を育成できるようにロボットづくりを課題研究で行っています。

内 容

令和元年度製作した火星探査車（マーズローバー）は、六輪走行で悪路や砂地を走行できるように設計しました。令和2年度においては、走破性の高いカタピラー方式を採用し、昨年度の研究を継続しつつ、被災地でも活躍できる火星探査ロボット（マーズクローラー）の製作に取組み、川俣町や福島県に少しでも貢献できる成果が得られることを目的としました。

製作は地域の企業と協働（部品製作やプログラム開発）で行い、試行錯誤の末、ロボットが動き出した時は、生徒達の姿がとても頼もしく見えました。



○川俣町とコラボ！

令和元年度川俣町内の事業者等によるモノづくりの魅力を発信し、住民のモノづくりに対する興味及び関心に繋げることや、町内事業者等の情報交換及び交流の場として、

「川俣町モノづくり体験塾」を開催しました。川俣高校機械科もフライホイールカーの設計製作で協力し、大変好評を得ました。

令和2年度は、「川俣町ものづくりエイト」と名前を変更し、本校機械科の生徒が講師として、フライホイールカーの組み立てを小学生親子に教える予定でしたが、コロナ禍の影響で、オンライン開催で実施となります。



製作班の感想

○班員1人1人が達成感を味わえたとともに、制御に関する奥深さや複雑なプログラムを解析する楽しさも同時に経験することができ、非常に有意義な課題研究となりました。

作成

西暦2021年1月